

メンター制度研修会を実施しました！

「メンター制度」とは、メンターである先輩社員がメンティである若手社員の仕事上における悩みや不安を聞き、支援する制度のことで、今年度から昭和鉄工でも入社1年目～3年目の若手社員を対象とした「メンター制度」を導入することが決定しました。

サポートする側の先輩社員を「メンター」、サポートされる側の若手社員を「メンティ」と呼び、メンターとメンティは、上下の関係ではなく斜めの関係で、仕事の悩みや人間関係の悩みなど何でも相談できる兄や姉のような存在です。

業務上で抱える不満や人間関係の問題は、直属の上司や先輩社員には伝えにくい場合があります。そのため、「この内容は話しても大丈夫だろうか」と若手社員が気にしないで良いように、所属する部署とは別の部署の人とペアを組むようにします。他部署の先輩社員という一步離れた第三者的立場だからこそ、相談できる問題もあるでしょう。

「メンター制度」を導入することによって、若手社員が抱える悩みや不安などの問題を最小限に抑え、若手社員の育成や業務上の不安解消を図ることができるように取り組んでまいります。また、メンターとメンティという新たな繋がりにより、コミュニケーションが活発化したり、対話や相談による自発的な課題解決が行われるようになる効果も期待しています。



メンター制度研修会の様子

メンター・メンティの関係イメージ

